

1. 件名: 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構との重金属等の有害物質を含む放射性廃棄物の埋設処分に関する今後の対応に関する面談

2. 日時: 令和3年3月2日(火) 10時00分～10時25分

3. 場所: 原子力規制庁10階南会議室※TV会議により実施

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

大島安全規制管理官(研究炉等審査担当)、来住管理官補佐、

前田安全規制調整官、青木主任技術研究調査官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部 安全・核セキュリティ推進室 担当者

バックエンド統括本部企画部廃止措置推進室

佐々木室長 他4名

5. 要旨

(1) 令和2年1月29日の「第4回原子力機構バックエンド対策監視チーム」において、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構(以下「機構」という。)から要望のあった重金属等の有害物質を含む放射性廃棄物の埋設処分への対応について、令和3年2月3日の第53回原子力規制委員会での議論を踏まえ、原子力規制庁から以下の内容を伝えた。

○機構は、より具体的な対応策の検討を行うこと。その際、関係自治体ともよく相談すること。

○本件は原子炉等規制法に基づいた許可の範囲ではないが、検討の進捗を踏まえ、必要に応じて機構が主体となって関係自治体に意見を聴き、その結果を含めて原子力規制庁に相談いただきたい。

(2) 機構から、上記依頼に承知した旨の回答があった。また、埋設処分の実施予定時期については未定だが、現時点では令和11年以降の操業を目指している旨の説明があった。

6. 配布資料

・重金属等の有害物質を含む放射性廃棄物の埋設処分に関する対応について
(令和2年度第53回原子力規制委員会 資料4)